

Renatus

: Theme

日本の文化・工芸を身近に

: Concept

03/14

現在国内生産が難しい昭和型板ガラスをアクリルで再現し、
文化・工芸の継承を目指すCMFデザイン提案

C : color(色)

M : material(素材)

F : finish(加工)

“昭和型板ガラス”とは

:FEATURES

- ・表面に模様のような凹凸がある
- ・昭和時代に盛んに生産されていた
- ・百種類以上の豊富なデザイン

:MERIT

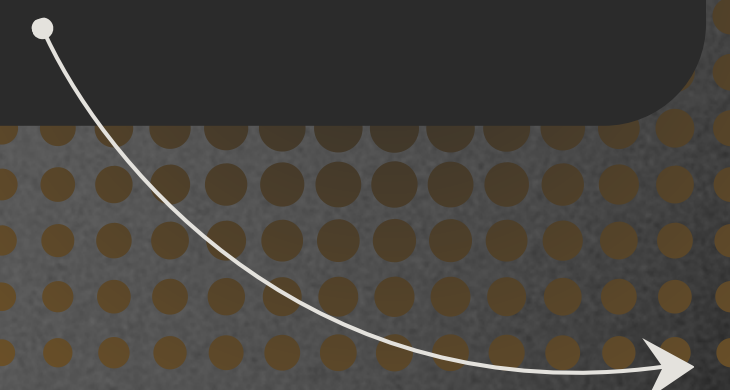
- ・光を通しつつ視界を遮る

→照明が十分に普及していなかった当時の需要から



現在では古い家屋にのみ
点在している

希少価値が高い



: Question

05/14

Q.なぜ昭和ガラスは希少？

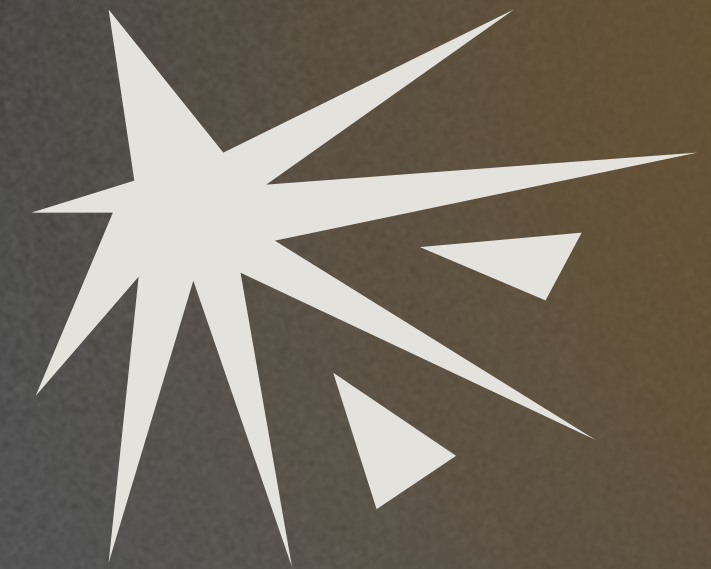
A.現在の日本国内での生産が不可能だから

- ・生産するための型が海外へ流れてしまった
- ・需要が高くなっても生産ラインを復活させるのは難しい

現在の入手手段：海外輸入/古い家屋からの回収のみ

現状の問題点

- ・昭和ガラスの入手が困難
- ・板ガラスそのものが危険で扱いづらい
- ・現代人のライフスタイルに取り入れづらい



素材がガラス → 問題点 (増)

Renatus

レナトス

○昭和ガラスをアクリル板で再現

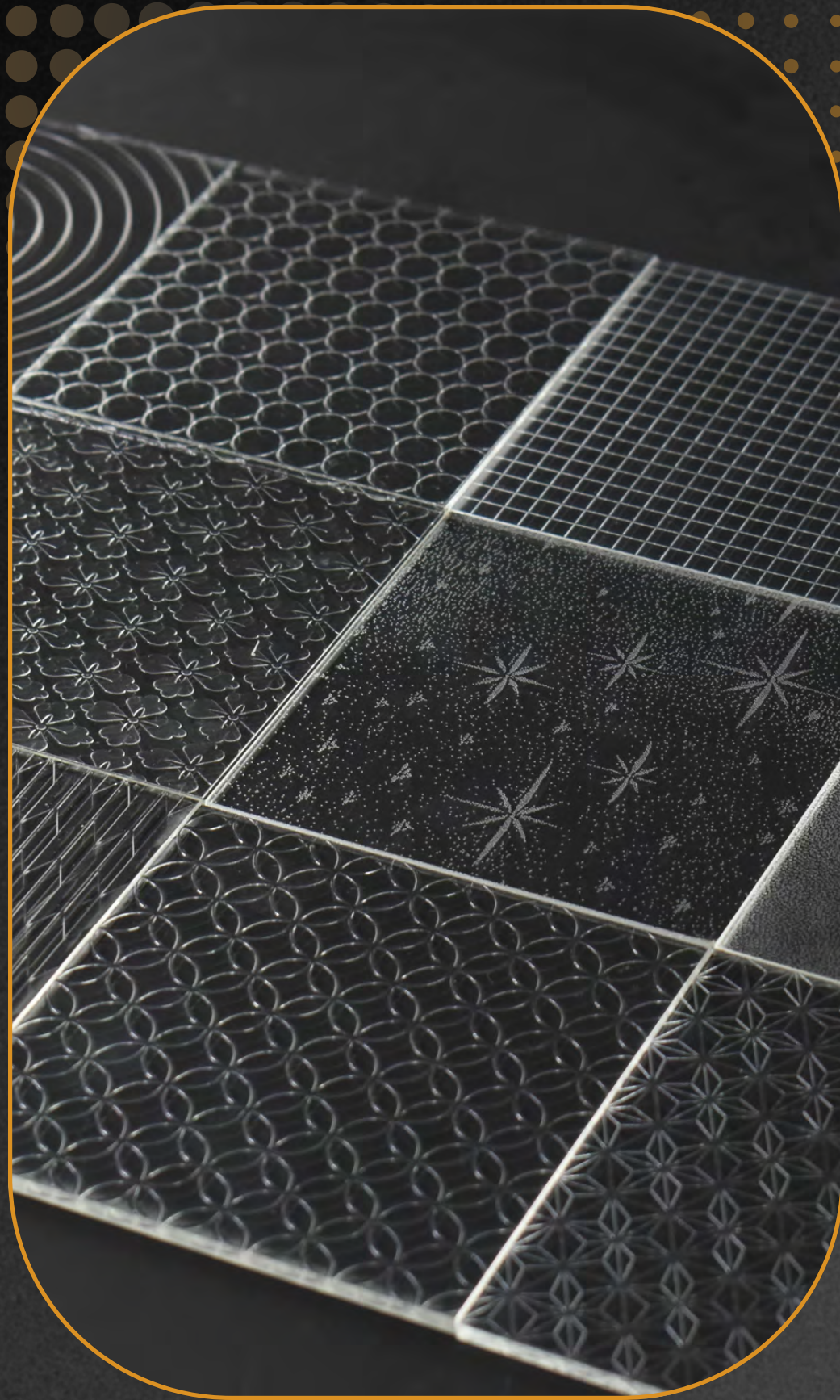
ガラスに似ていて

ガラスよりも安全で扱いやすいアクリル板を使う



老若男女誰もが昭和ガラスを

日常に取り入れることができる



: Features

08/14

工芸

昭和ガラス

- ・光を通す
- ・視界を遮る
- ・高いデザイン性



工業技術

アクリル板

- ・透明度が高い
- ・落としても割れにくい
- ・軽くて扱いやすい
- ・高い加工性

UVグロス印刷

- ・高い対摩性
- ・表面加工が得意
- ・凹凸をつけることが出来る
- ・日光に対する高い耐久性

: How to make

01. スキャン

スキャナーで昭和ガラスをスキャン

01.



02.



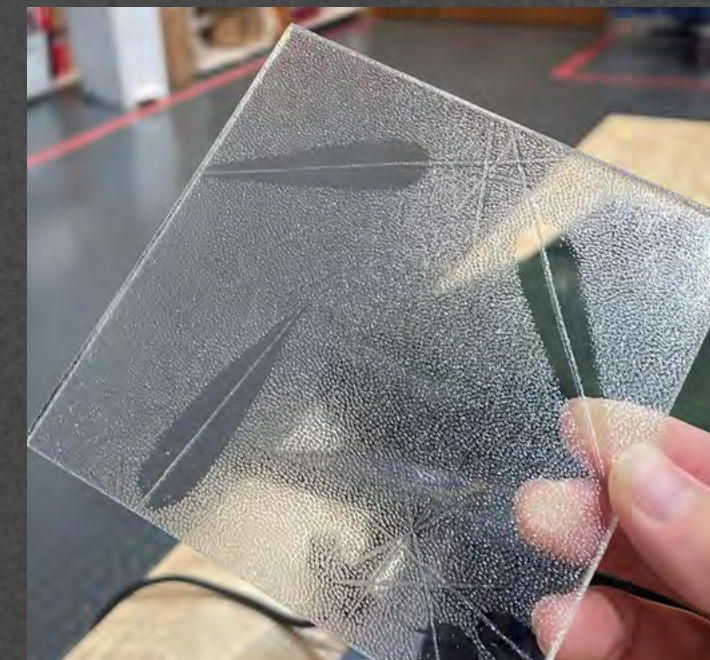
02. データ調節

Photoshop/illustratorでデータ調節

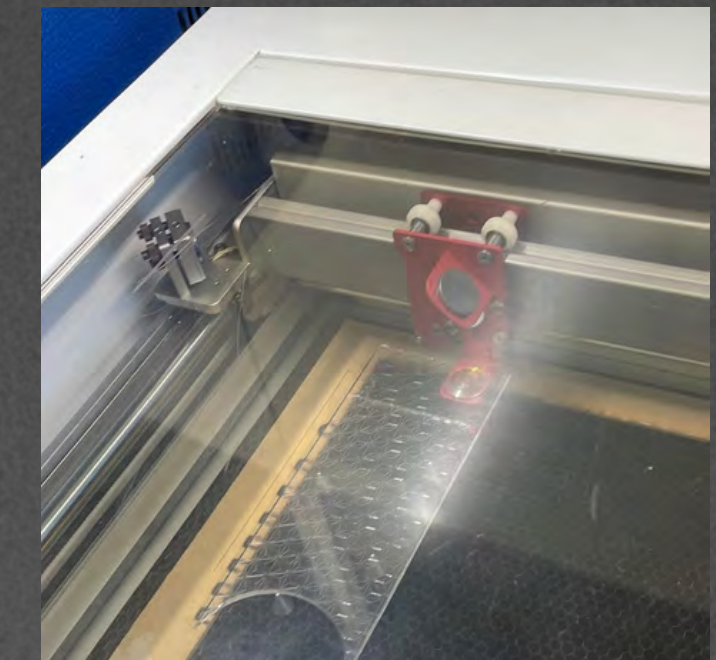
03. UVプリンターで印刷

UVプリンターのgloss印刷を3回重ねる

03.



04.

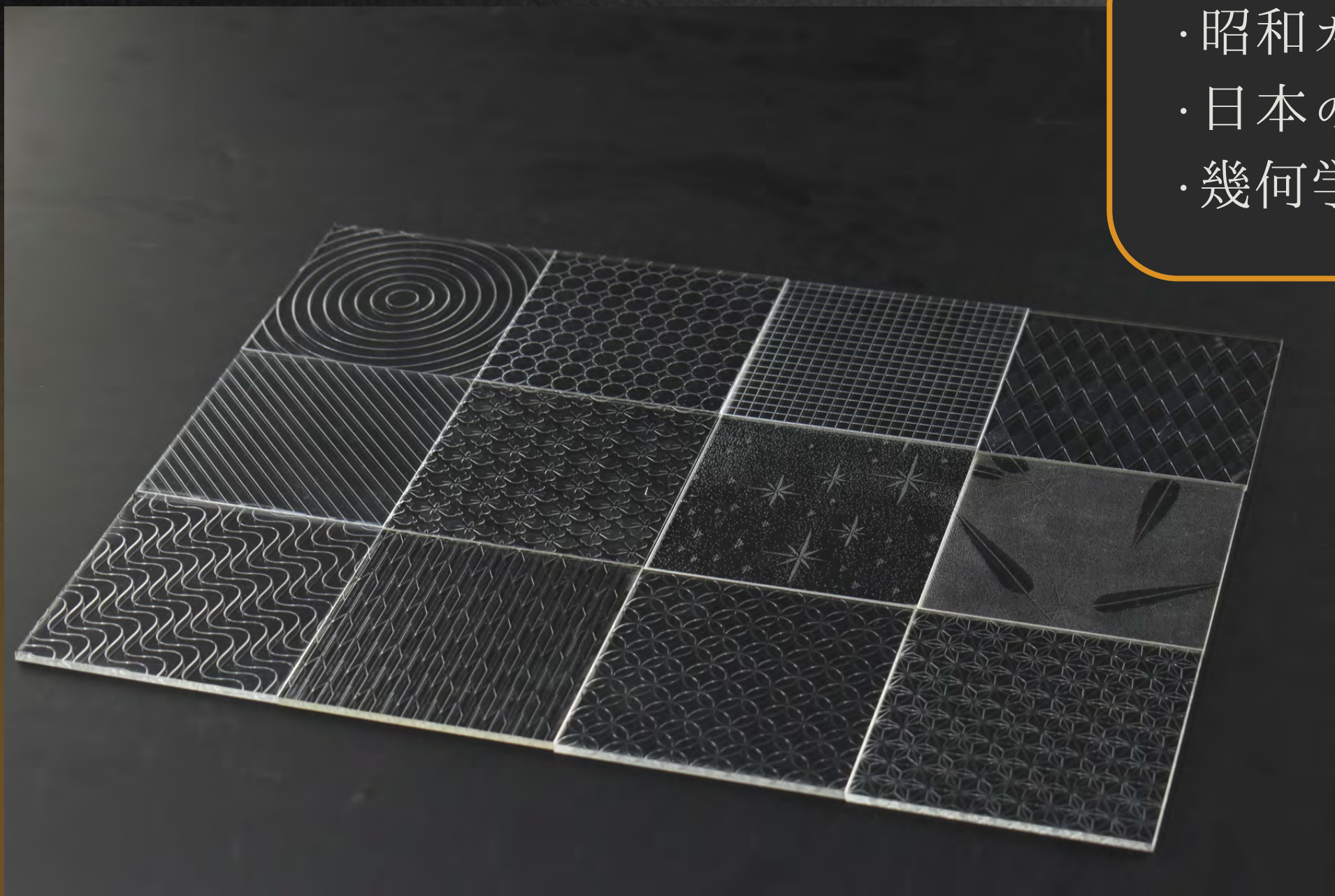


04. レーザー加工機でカット

通常のアクリル板のカットデータでOK

: Variety

- ・昭和ガラス
- ・日本の伝統模様
- ・幾何学模様





: SDGs

廃棄されるアクリルパーテーションを再利用

コロナ禍で飛沫防止のために

使用されていたアクリルパーテーションを使用

提供：FUSE(浜松いわた信用金庫)

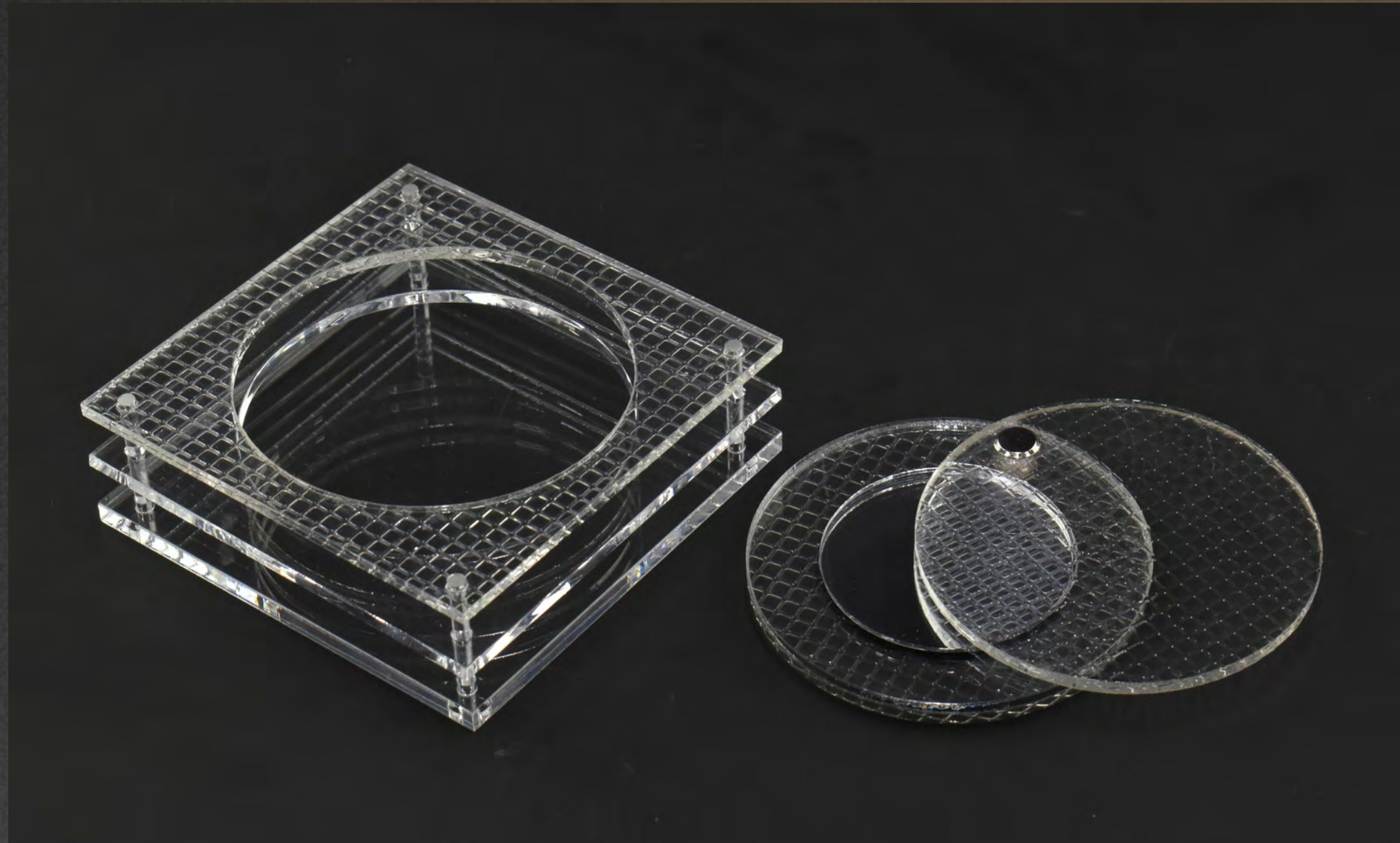
UV印刷で表面加工



傷や落ちない汚れをカバーすることが出来る

: Product

12/14



: Message

13/14

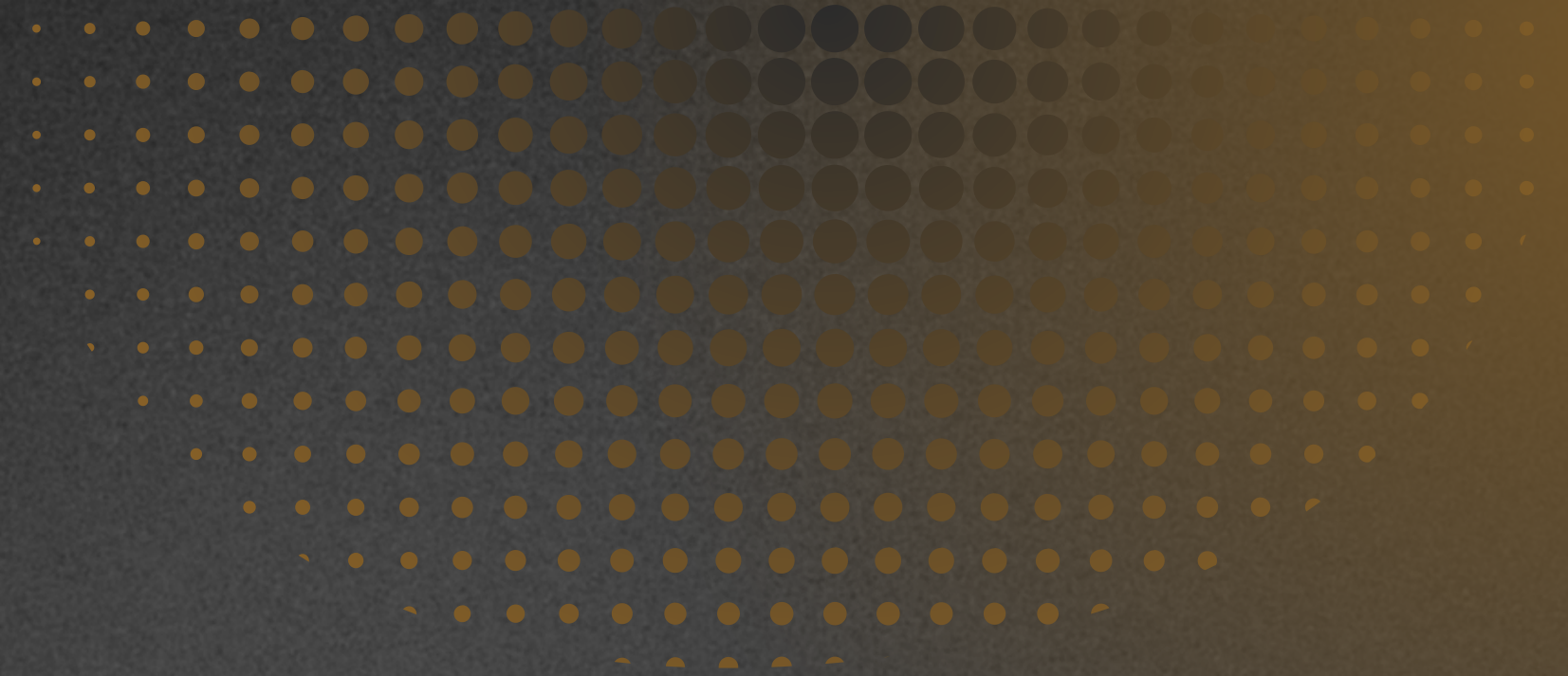
作品を通して

昭和ガラスをはじめとした日本の文化・工芸に興味を持ってほしい

アクリルの魅力と可能性を発見してほしい

端材・廃材の次の使い道を考えるきっかけになってほしい

過去から現在、そして未来をつなぐプロダクト



Thank You

ご清聴ありがとうございました